



平成24年7月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年12月2日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 メディアシーク
コード番号 4824 URL <http://www.mediaseek.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 西尾 直紀

問合せ先責任者 (役職名) 取締役業務管理部長 (氏名) 根津 康洋

TEL 03-5423-6600

四半期報告書提出予定日 平成23年12月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年7月期第1四半期の連結業績(平成23年8月1日～平成23年10月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年7月期第1四半期	335	△19.3	△32	—	△29	—	△17	—
23年7月期第1四半期	416	△9.2	△9	—	△7	—	△30	—

(注) 包括利益 24年7月期第1四半期 △26百万円 (—%) 23年7月期第1四半期 △44百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年7月期第1四半期	△177.62	—
23年7月期第1四半期	△317.36	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年7月期第1四半期	2,043	1,780	85.6	18,039.24
23年7月期	2,095	1,815	85.2	18,415.31

(参考) 自己資本 24年7月期第1四半期 1,749百万円 23年7月期 1,785百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年7月期	—	0.00	—	100.00	100.00
24年7月期	—	—	—	—	—
24年7月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年7月期の連結業績予想(平成23年8月1日～平成24年7月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	673	△25.3	△95	—	△97	—	△101	—	△1,041.43
通期	1,400	△18.4	△167	—	△195	—	△203	—	△2,093.17

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ― 社 （社名） 、 除外 ― 社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 ： 無
- ② ①以外の会計方針の変更 ： 無
- ③ 会計上の見積りの変更 ： 無
- ④ 修正再表示 ： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

24年7月期1Q	97,215 株	23年7月期	97,215 株
24年7月期1Q	233 株	23年7月期	233 株
24年7月期1Q	96,982 株	23年7月期1Q	96,982 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいております。実際の業績等は、様々な要因により、上記予想数値と異なる場合があります。

業績予想の前提となる条件等については、【添付資料】3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報・・・・・・・・・・・・・・・・	2
(1)連結経営成績に関する定性的情報・・・・・・・・・・・・	2
(2)連結財政状態に関する定性的情報・・・・・・・・・・・・	3
(3)連結業績予想に関する定性的情報・・・・・・・・・・・・	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項・・・・・・・・・・・・	3
(1)当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動・・・・	3
(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用・・・・	3
(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示・・・・	3
3. 四半期連結財務諸表・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	4
(1)四半期連結貸借対照表・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	4
(2)四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書・・・・	6
(3)継続企業の前提に関する注記・・・・・・・・・・・・・・・・・・	8
(4)セグメント情報等・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	8
(5)株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記・・・・・・	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境は依然として厳しく、先行き不透明な状況が続いております。

当社グループは、コンテンツ事業において、「Beauty マクロビオ！」等既存の携帯電話向け有料コンテンツのサービス強化を行ったほか、「スーパーボディ」等、従来サービスに加え、新たなスマートフォン向けコンテンツを開始しました。サービス開発事業においては、バーコードリーダー等モバイル機器向けソフトウェアのライセンス販売を行いました。システムコンサルティング事業においては、主に既存クライアント向けシステムコンサルティング業務による売上を計上しました。その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は、335,736千円(前年同期比19.3%減)、営業損失は、32,967千円(前年同期は、9,817千円の営業損失)、経常損失は、29,354千円(前年同期は、7,124千円の経常損失)、四半期純損失は、17,225千円(前年同期は、30,778千円の四半期純損失)となりました。

セグメント別の概況は以下の通りです。

なお、前連結会計年度においては、主にスマートフォン向けの新規技術等を開発するための研究開発要員を「サービス開発事業」セグメントの内部に配属しておりましたが、当第1四半期連結会計期間から、より一層の研究開発体制の強化を目的として、「サービス開発事業」セグメントから独立した研究開発の専属部門を設立し、「サービス開発事業」セグメントで集計していた研究開発活動を「調整額」で集計するように区分を変更しております。前年同期比の金額及び比率については、前第1四半期連結累計期間を当第1四半期連結累計期間において用いた報告セグメントの区分に組替えて算出しております。

(サービス開発事業)

サービス開発事業においては、従来の携帯電話向け組込み型バーコードリーダーのライセンス販売に加え、スマートフォン向けにもバーコードリーダーを提供し、主要な携帯電話メーカーや通信事業者、情報サービス事業者等に対し、アプリケーションソフトウェアのライセンス販売を行いました。その結果、同事業の当第1四半期連結累計期間の売上高は、50,516千円(前年同期比7.0%減)、セグメント利益は、17,932千円(前年同期比27.1%増)となりました。

(コンテンツ事業)

コンテンツ事業においては、「Beauty マクロビオ！」等既存の携帯電話向け有料コンテンツのサービス強化を行ったほか、「スーパーボディ」等、新たなスマートフォン向けアプリケーションコンテンツの提供を開始しました。その結果、同事業の当第1四半期連結累計期間の売上高は、166,444千円(前年同期比25.8%減)、セグメント利益は、34,986千円(前年同期比12.8%増)となりました。

(システムコンサルティング事業)

システムコンサルティング事業においては、主に既存クライアントに対するシステムコンサルティングサービスを実施しました。その結果、同事業の当第1四半期連結累計期間の売上高は、

118,775千円(前年同期比13.7%減)、セグメント利益は、5,600千円(前年同期比77.0%減)となりました。

(2)連結財政状態に関する定性的情報

(資産、負債及び純資産の状況)

①資産の部

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、2,043,474千円(前連結会計年度末から51,830千円の減少)となりました。

このうち、流動資産は、1,476,476千円(前連結会計年度末から34,917千円の減少)となりました。これは、主として仕掛品が17,502千円増加した一方で、売掛金が54,385千円減少したことによるものです。

固定資産は、566,997千円(前連結会計年度末から16,912千円の減少)となりました。これは、主として投資有価証券が21,153千円減少したことによるものです。

②負債の部

当第1四半期連結会計期間末における負債は、263,349千円(前連結会計年度末から16,039千円の減少)となりました。これは、主として買掛金が25,142千円減少した一方で、流動負債のその他に含まれている未払金が17,330千円増加したことによるものです。

③純資産の部

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、1,780,125千円(前連結会計年度末から35,791千円の減少)となりました。これは、主として第1四半期純損失を計上したこと及び配当を実施したことにより利益剰余金が26,923千円減少したことによるものです。

(3)連結業績予想に関する定性的情報

平成24年7月期の連結業績予想については、概ね当初の業績予想通りに推移しているため、平成23年9月9日に公表しました業績予想の数値に、変更はありません。

なお、当該予想については、現時点で入手可能な情報に基づき当社で判断したものです。実際の業績は、様々な要因によって、予想数値と異なる結果となる可能性があります。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1)当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年7月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年10月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,054,703	1,039,693
売掛金	397,202	342,816
商品	187	182
仕掛品	3,203	20,706
その他のたな卸資産	12,778	9,695
その他	53,728	72,983
貸倒引当金	△10,410	△9,600
流動資産合計	1,511,394	1,476,476
固定資産		
有形固定資産	39,548	37,680
無形固定資産		
のれん	7,168	6,351
その他	10,543	9,518
無形固定資産合計	17,712	15,869
投資その他の資産		
投資有価証券	353,098	331,944
その他	200,051	208,003
貸倒引当金	△26,500	△26,500
投資その他の資産合計	526,650	513,447
固定資産合計	583,910	566,997
資産合計	2,095,305	2,043,474
負債の部		
流動負債		
買掛金	100,782	75,639
1年内返済予定の長期借入金	8,671	8,004
未払法人税等	3,677	1,489
その他	91,904	105,817
流動負債合計	205,034	190,950
固定負債		
長期借入金	56,655	54,654
退職給付引当金	243	228
資産除去債務	17,455	17,516
固定負債合計	74,353	72,398
負債合計	279,388	263,349

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年7月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年10月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	814,962	814,962
資本剰余金	948,203	948,203
利益剰余金	158,202	131,278
自己株式	△39,678	△39,678
株主資本合計	1,881,689	1,854,765
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△89,233	△98,355
為替換算調整勘定	△6,502	△6,928
その他の包括利益累計額合計	△95,735	△105,283
少数株主持分	29,962	30,643
純資産合計	1,815,916	1,780,125
負債純資産合計	2,095,305	2,043,474

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成22年8月1日 至 平成22年10月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年8月1日 至 平成23年10月31日)
売上高	416,149	335,736
売上原価	314,902	246,641
売上総利益	101,246	89,095
販売費及び一般管理費	111,063	122,063
営業損失(△)	△9,817	△32,967
営業外収益		
受取利息	394	12
受取配当金	2,782	2,003
投資有価証券売却益	263	—
為替差益	4,097	874
その他	276	1,260
営業外収益合計	7,814	4,151
営業外費用		
支払利息	518	398
複合金融商品評価損	4,510	—
支払保証料	—	121
その他	92	16
営業外費用合計	5,121	537
経常損失(△)	△7,124	△29,354
特別損失		
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	16,005	—
固定資産除却損	—	151
その他	2,907	—
特別損失合計	18,913	151
税金等調整前四半期純損失(△)	△26,037	△29,505
法人税、住民税及び事業税	1,062	663
法人税等調整額	743	△13,781
法人税等合計	1,805	△13,117
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△27,843	△16,387
少数株主利益	2,934	838
四半期純損失(△)	△30,778	△17,225

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成22年8月1日 至 平成22年10月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年8月1日 至 平成23年10月31日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△27,843	△16,387
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△16,019	△9,121
為替換算調整勘定	△530	△583
その他の包括利益合計	△16,549	△9,705
四半期包括利益	△44,393	△26,092
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△47,126	△26,774
少数株主に係る四半期包括利益	2,733	681

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成22年8月1日 至 平成22年10月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	サービス開 発事業	コンテンツ 事業	システムコ ンサルティ ング事業			
売上高						
(1) 外部顧客への売上高	54,310	224,187	137,651	416,149	—	416,149
(2) セグメント間の内部売 上高又は振替高	—	—	12,612	12,612	△12,612	—
計	54,310	224,187	150,263	428,761	△12,612	416,149
セグメント利益又は損失(△)	9,232	31,007	24,348	64,587	△74,404	△9,817

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額は、全社費用です。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費です。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 平成23年8月1日 至 平成23年10月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	サービス開 発事業	コンテンツ 事業	システムコ ンサルティ ング事業			
売上高						
(1) 外部顧客への売上高	50,516	166,444	118,775	335,736	—	335,736
(2) セグメント間の内部売 上高又は振替高	—	—	5,221	5,221	△5,221	—
計	50,516	166,444	123,997	340,958	△5,221	335,736
セグメント利益又は損失(△)	17,932	34,986	5,600	58,519	△91,487	△32,967

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額は、全社管理部門の費用及び研究開発部門の費用です。金額の内訳は、全社管理部門が△74,709千円、研究開発部門が△16,777千円となっております。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

前連結会計年度においては、主にスマートフォン向けの新規技術等を開発するための研究開発要員を「サービス開発事業」セグメントの内部に配属しておりました。当第1四半期連結会計期間から、より一層の研究開発体制の強化を目的として、「サービス開発事業」セグメントから独立した研究開発の専属部門を設立し、「サービス開発事業」セグメントで集計していた研究開発活動を「調整額」で集計するように区分を変更しております。

前連結会計年度の対応する四半期連結累計期間について、変更後の区分方法により作成した報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報は、以下の通りです。

前第1四半期連結累計期間(自 平成22年8月1日 至 平成22年10月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	サービス開 発事業	コンテンツ 事業	システムコ ンサルティ ング事業			
売上高						
(1)外部顧客への売上高	54,310	224,187	137,651	416,149	—	416,149
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	12,612	12,612	△12,612	—
計	54,310	224,187	150,263	428,761	△12,612	416,149
セグメント利益又は損失(△)	14,105	31,007	24,348	69,460	△79,278	△9,817

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額は、全社管理部門の費用及び研究開発部門の費用です。金額の内訳は、全社管理部門が△74,404千円、研究開発部門が△4,873千円となっております。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(5)株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。